

各位

2011年5月5日

## 活性化自己リンパ球の医薬品開発に向けてのお知らせ

東京都江東区冬木 18-4  
株式会社リンフォテック

当社（株式会社リンフォテック）は、活性化自己リンパ球を細胞医薬品とするための第一歩として、2011年4月20日（水）に確認申請（注）を厚生労働省に提出いたしました。

当社の活性化自己リンパ球は、肝細胞がんをはじめとしたがんの再発予防に効果があると報告されておりますが、今回は極めて予後不良の悪性脳腫瘍の1つである膠芽腫（グリオブラストーマ）に対する再発予防を目的とした細胞医薬品の開発を行います。グリオブラストーマは、手術後の平均生存期間が約1.5年で、現在の治療法では治療成績の改善の可能性は極めて低く、より有効な治療法の開発が待たれています。

当社代表取締役関根らが国立がんセンターで1991年から行った活性化自己リンパ球を用いた臨床研究では、グリオブラストーマ患者5例中3例は5年以上再発が抑えられ、内2例は10年以上無再発状態を保つ結果となりました。このような背景のもと、活性化自己リンパ球がグリオブラストーマの手術後の再発予防に有効であると考えております。

活性化自己リンパ球による治療が、全国の病院で実施可能となり、一日も早く患者様の日常生活が改善されるよう、今後とも全力で医薬品開発を進めてまいります。

### （注） 確認申請について

細胞・組織製品に関しては、「細胞・組織を利用した医療用具又は医薬品の品質及び安全性の確保について（医薬発906号、平成11年7月30日）」により、治験計画届を行う前に、厚生労働大臣に製品の品質及び安全性の確認を求めるとされており、これを確認申請といいます。

以上